

はくさん

明けまして

おめでとうございます

第116号令和3年正月号
伊豆市 法住寺 発行

ある日 突然に

それは突然やってきた。昨年の11月1日
早朝、まだ明けない境内から凜としたものが
伝わってきた。しばらく床の中でボウッッ、
ああそうだ!! 今日荒行入行の日だ。今年は
新型コロナウイルス防止で日蓮宗荒行堂は開設さ
れていないが、この日を期しての洋明上人の
水行だった。まだ早朝、周りに配慮して大き
い声は出さず水音と気合が伝わってきたのだ
った。その時突然やってきた、「ぬくぬくして

「寿量の祈り 敬意と感謝」

大自然 ありがとうございます。 合掌
社会の皆さん ありがとうございます。 合掌
ご先祖さま、家族の皆さん ありがとうございます。 合掌



で、心の奥底に南無妙法蓮
華經をたもてる安心感、落
ち着き、そして安らぎ、何
とも言えず「いいなあ、い
いなあ」。

いる者は後にしろ」と。
この11月1日は
第一日曜日、祈願会の日
だった。新型コロナに
配慮しつつ沢山の
方々がお詣りされ、共
にお経を誦読してい
る。お経の後は法話を
させてもらうが、いつ
も私が最初に、次に
洋明上人、この順番を
「ぬくぬくしている者
は後にしろ」、ご本尊さまからのぬくもりのあ
るメッセージであった。

*

若い頃は生意気で理屈っぽく(今でも…)な
んですが、それでも檀家さん方は本当によ
く支えてきて下さった。おかげさまで本堂正
面のご本尊さまに、スクツと入っていきけるよ
うになってきた。まことに気持ちの善いもの



年末のモミジはきれいでした。20年余植樹し続
けてくれた皆さん、あの世に逝かれた方もい
ますが、楽しんで下さっていることでしょう。



ご本尊さまは光となって飛び込んできたり、
ボウッとした意識を砕いたり、突然にやって
来て下さる。本当は何時も直ぐお側にいて下
さっているけど、ガラクタの雑念が邪魔して
気付けないのだろう。

*

今年はどんなことを伝えて下さるのか、あ
れやこれや思い過ぎては、せっかくのご本尊
さまを気付けない。大自然に沿って、せいせ
いとすがすがしく過ごしていきたいと思う。

謹賀新年



法住寺護持会

〔総代、護持会長〕伊東修

〔総代、副会長〕伊東一衛

〔総代〕土屋正次

〔顧問〕山下一

〔世話人〕山崎正行、井本和男、飯田昌之、室野和義、山下武志、加藤正樹、山下悦子、山田邦光、森野智喜

〔監査〕小塚健治、小塚秀夫

中伊豆立正大題目講(当山)

〔会長〕山下要

〔顧問〕小塚勝、山下一

〔世話人〕伊東貞子、伊東すゑ子、三田五月、伊東はつ江、伊東ちゑ子、伊東通子、三田信子、渡辺直子、小塚正司、小塚康清、山下英子、林やす子、小塚千恵子、小塚みよ子、佐藤雄一、佐藤賢吾、杉山松子

伊豆連合大題目講(当山)

〔理事〕山下要



お寺の庭に花いっぱい

昌子寺庭の山務日誌より

今年ほどに世の中の日常が変わったことは無かったと思います。

今この「はくがんさん」を読んで下さっている方々におかれましても日々の暮らしの中であきらめたり、我慢をしたり、心配したり、悩んだり、悲しかったり、だからこそちよつとした事が、とっても嬉しかったりと

悲喜交々の一年だったと思います。私自身もとまどいながらも、その時その時の判断で様々な場面を越えてまいりました。今思うこ

とは普通に暮らせることのありがたさですが、一方でただよう閉塞感の中で心に残ったことは笑顔のありがたさでした。自分の気持ち、気分がもやもやしたり沈んでいる時、出会った方の笑

顔にどれ程なぐさめられ、元気を戴けたことか。相手を思いやる一言にどれ程救われたことでしょうか。

*

「和顔施」何もなくとも今すぐ出来て相手も自分も救われる。私たち人間には相手に心を添わせる、想いを馳せる能力が備わっているのだと信じて今年もまずは笑顔を忘れずに心がけてゆきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

書院、腰掛に

書院に椅子、

テーブルがはいりました。椅子は24脚、テーブルは長テーブル8台で、最大48人まで腰かけて対応できます。



椅子、テーブルの荷物は大きな段ボールで沢山に届き、役員さんと設置しました。

護持会役員作業



役員さんが
第2墓地、百
日紅の枝をネ
ットで保護し
て下さいまし
た。シカが若
い枝を折って
しまうため、
急斜面の大変
な作業でした。

境内整備作業



年末の境内
作業は元村
2、3班の皆さ
んが奉仕して
下さいました。
本堂裏斜面の
大きな雑木を
処理、何時も
ありがとうございます。

本堂大掃除



位牌堂 ご先祖さまのお
位牌を一つずつきれいに

有志の皆さんが、今年も本堂や書院窓等の大掃除をやって下さいました。今年は大掃除後の年越し手打ちそばは、新型コロナウイルスの関係で中止、あの手打ちの蕎麦、また頂きたいものです。

星まつり 1月31日(日)

新春の星まつりは、新型コロナウイルス感染予防し
て行います。例年の本堂一杯満席を避け、10
時より3時まで5回に分散し蜜を避けて
御祈禱し、換気にも配慮して行います。お札
は郵送も致しますので、ご都合に合わせてお
申し込み下さい。詳しくは別紙案内やお寺の
ホームページをご覧ください、防寒してご参
加ください。

田舎暮らし、地域づくり

ある広報誌に素敵な記事がありました。お寺にもよくお詣りして下さる方で了解を得て掲載させてもらいます。

『主人の定年を機に東京より伊豆市に戻り、「不便でさびしく楽しめるところも何もない」と不平不満の毎日でした。そんな中で、いつの時代につくられたのか、子孫繁栄のいわれのある道祖神が気になり、草だらけの斜面の草刈りをして、娘の子宝祈願をするようになりました。すると、それを見てくれていた町内の方たちが集まって、私の歩幅を何度も確認しながら、20段の石段を作ってくださいました。花立をたててくれた方、植樹をしてくれた方、いつも可愛い花の鉢を置いてくれる方もいらっしやいます。都会では決して味わうことのできない心温かな思いやりを感じ、うれしく胸が熱くなりました。豊かさは物ではなく心なんだな、田舎暮らしって、伊豆市ってこういう良いところが一杯あるんだなと思いました。畑にいれば一声かけてくれる方、車からは笑顔で手を振ってくれる方、いつも私を見守ってくれる方々がいることで地域の皆さんに支えられて生活できていると感じます。まわりは言わなくてもいつも助けてくれ

る人ばかりで何でも相談でき、さびしいことは何もあります。とても幸せなことです。』

(山口はるみさん)



洋明さんのおはなし

昨年のお正月には、まさか私たちの日常がこんなにも新型コロナウイルスによる影響を受けるとは思いませんでした。多くの目に見えることが変化した一年、出来ない事より限りある中で出来ることを考え、それを柔軟に受け入れる年でもあったと思います。そんな中、昨年は鬼滅の刃というアニメが大流行をしました。特にアニメの中の「全集中」や「水の呼吸」という言葉は社会現象にもなりました。ですから水といえば「水の呼吸」を思う方も多いことでしょう。しかし私は水といえば「水の行」を思うのです。「水の行」とは

御志納金「十月〜十一月」

東京 森野道雄殿 尊父葬儀砌
清水 森野隆史殿 先祖伝来田圃感謝
清水 森野隆史殿 退院感謝
伊豆の国市 岩瀬力殿 愛妻葬儀砌
小川 室野和義殿 尊母葬儀砌
大京 松本之雄殿 本堂エアコン砌

水を被る水行とは違います。「水の行」とは日蓮聖人が大切にされた行。日蓮聖人は、世の中にはワラが一瞬だけ強く燃え上りその後すぐに下火になる様に、一瞬だけ、その時だけの気持ちの「火の行」と、絶え間なく流れる水の如く、どんな時も同じ気持ちでいる「水の行」があると言われました。そして法華經の行者は「水の行」が大切であると手紙を書かれたのです。

今年の星祭は、残念ながら昨年のように本堂一杯の皆さんと一同に会してとはいきません。しかし目に見えることや、世の中は変われどもこの法住寺には決して変わらないものがあります。それが仏さま、諸天善神、法華經、ご先祖さま、そして脈々と遙か昔から歴代上人や皆さんのご先祖さまが繋いで下さったお題目の情熱の縦の糸。その仏天にお喜びを頂き、一年間の感謝を申し上げる、そして皆さんの一年間の御守護を祈ること、これも変わらないこと。もちろん時代に合わせて法要の形は変われど、我らの気持ちと祈りは「水の行」。変わらずに真っ直ぐに祈らせて頂きます。

*

さて前回は、コロナだから出来ないではなく、コロナだから「こそ」を付ける話をし

ました。実はこの「こそ」について、ある道歌では次の様に歌われています。

とある夫婦の話。夫が「お前みたいなおたくババを、俺でありやこそ置いてやる」と言う、妻はすかさず「私なりやこそ辛抱もするが、誰がみるぞや痩せ所帯」と言い返します。しかしこの歌はここで終わらずに、こう続きます。「外で俺が働けるのも、家を貴女が守りやこそ。私みたいなふつか者を、貴方なりやこそ大切に。こそと威張ってこちらにつけりや、何とこしゃくと喧嘩ごし。こそと崇めて向こうにつけりや、ニツコリ笑ってあなたこそ。喧嘩するのもし仲良くするも、こそこの付けどこただ1つ」

全くその通り。自分に「こそ」や「のに」を付ければ周りに不満を感じ、逆に相手に付ければ感謝や笑顔に変わるものです。

*

今年も様々なことが見える形で変化していくことでしょう。私もこんな時だからこそ、日々の中で「こそ」「のに」の付けどころに気を付けたいと思います。そしてどんな時も同じ気持ちで、いつも同じ「水の行」を皆さんと共に大切にしたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。